

## 【1】よく分からん定額給付金

定額給付金とは、麻生総理が景気対策として、国民全員に1万2000円を支給し、18歳以下の子供と65歳以上の高齢者には、さらに8000円加算して支給する政策である。ねらいとしては、お金を支給することにより、消費を増大させ、それにより景気を活性化させることである。実際に、麻生総理が定額給付を行なおうとしているが、その方法等が全然定まっていない。配布方法は、現金にするのか、銀行振り込みにするのかは、不明である。また、住所不定のホームレスの人にはどのようにして配布するのか、寝たきりの人はどうするのか、それらについては全く検討されていない。銀行振り込み等なら、詐欺が起きる可能性もある。また世界恐慌によって、アメリカや欧米の需要が減り、減産を強いられている製造業では、派遣切りを行なっているが、特にその対象になりやすく、それによって苦しんでいる外国人労働者には支給されるかどうか分からない。もっとも、いつ給付されるかも分からない。

所得制限についてであるが、1800万円とされている。しかし、実際に所得制限をするかどうかを決めるのは、地方自治体に丸投げをして、地方自治体は混乱している。国の政策であるのにもかかわらず、地方自治体に委ねることは、おかしいことである。麻生総理は、「地方分権だ」等を主張しているが、都合のいいときだけ地方に押し付けているのにすぎない。いい加減なことである。そもそも国の政策で、地域によって格差がつくことは、おかしいことである。もっとも、給付の方法によっては、地方自治体の窓口がパンクし、混乱に陥る。皮肉にも、地方自治体の給付のためのアルバイトだけは増えそうだが、それは一時的で、雇用対策にもならない。

国民の評価であるが、やはりこの政策は意味があるのかという声が多数である。所詮、生活費に消えるか貯金に回されるかで、経済効果は薄いと思う。また、給付方法や所得制限など、不確定要素があることから、地方自治体はどのように対応すればよいのかが分からなくて、困惑している。

この政策は矛盾点が多く、戦後最低の法案である。このような国民を混乱させるような政策しか行なえないのなら、政権を辞めた方がいい。内閣不信任である。所詮**あそう**（麻生）が行なう政策は、**あっそう**である。

ちなみに、金をばらまくのなら、地方自治体に好きに使ってもらおうか、宝くじの高額当選者を増やしたほうがおもしろい。**最も、2兆円は日本を根本的に変えるための資金にするべきではあるが。**

## 【2】日常生活で思うこと

日常生活で思うことをテキトウに挙げてみた。

松屋や吉野家は、安い値段（400円～500円程度）で、ガツガツおいしく食べられるので、庶民にとっては最高の飲食店である。しかし、麻生には、庶民の味は分からないな。なにせ、ホテルのバーが安いといっているぐらいだから。ところで、松屋や吉野家は、米国産牛肉を使用している。今は円高なので、牛肉を安く輸入することができるので、値下げしてくれたら、ありがたいな。

今、お金で何でも物事を解決しようとしている人が多いが、それは誤りである。お金で物事を解決することは、逆にお金以外は魅力的でないことになる。確かに、生活するためにはお金が必要な世の中ではあるが、その目的をはるかに超えるお金での取引は、単なる利己主義が強いだけであるのではなかろうか。お金を払う人も、お金をもらう人も…人よりもお金を稼ぎ、それを消費できる人間はエライという価値観が今の世の中に蔓延している。私は生活ができる程度のお金があれば、それ以上のお金は儲けなくてもいいので、お金にとらわれずに、暮らしていける世の中になればなと思うときがある。

今の世の中は、常に時間に追われる。まず、もう少しゆっくりできたらいいことを挙げてみる。布団で寝るときは気持ちがいい。体を休めることができるうえに、頭をリフレッシュできるからである。もう少し、長い時間寝られればなと思った。家族と雑談すると、すっきりしていい。気軽に話すことができるからである。でも、家

族解体が進んでいる今、家族と接する時間が短くなり、気軽に家族と雑談できない世帯も出てきている。あと、会社の昼休みをもっと長くし、食事の時間を長くとれば、おいしい食べ物を味わって食べられるので、極楽な気分になれる。もう少し、ゆっくりできたらいいということは、他にもいろいろあるが、それらは全て心を豊かにするものである。それを考えれば、もう少しゆったりと生活できる世の中になってほしい。時間にゆとりのない世の中は、今の社会構造にあると思う。やはり、社会を変えるしかないのか。